福島県立磐城桜が丘高等学校

令和元年６月23日（日）

おもて

福島の経験を活かすことは？

福島第一原発事故は、世界でも類を見ない大規模な事故であった。行われた対策や生み出された技術を様々な場面に活かすことができるのではないか。

うら

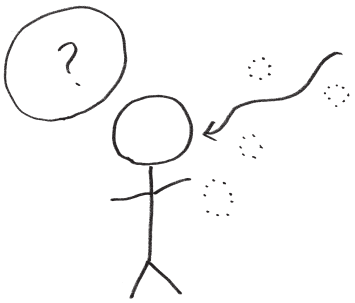
国内外、様々な場面で活かせる福島の原発事故の経験から生み出された技術はどのようなものがあるか？

- ロボット → 画像処理やVR
  → 多様な災害での利用
- ALPS → 汚染された物から有害物質を取り除く
- 浸水を防ぐ"パッキン"
- 電気なしで作動する冷却水循環装置
- 凍土壁 → 化学工場等での汚染水対策

上記のような様々な技術が今回の福島第一原発の事故で開発されました。その技術が他の場面で利用されたり、組み合わせなどをして新しい技術が開発されたりしてほしい。

おもて

放射線の何が危ないのか



廃炉に関わっている作業員さんは安全なのか、どうして放射線は危ないといわれているのか、

うら

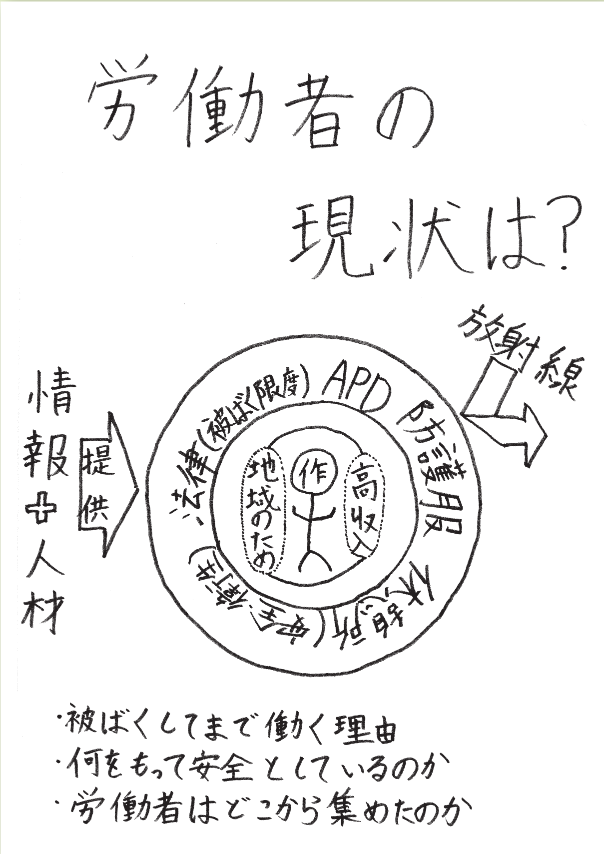
廃炉に関わっている作業員さんは安全なのか、

放射線は紫外線よりもはるかにエネルギーが高いため、DNAを傷つけることがあり、遺伝子がかきかわることもあるから発ガンリスクが高くなる。

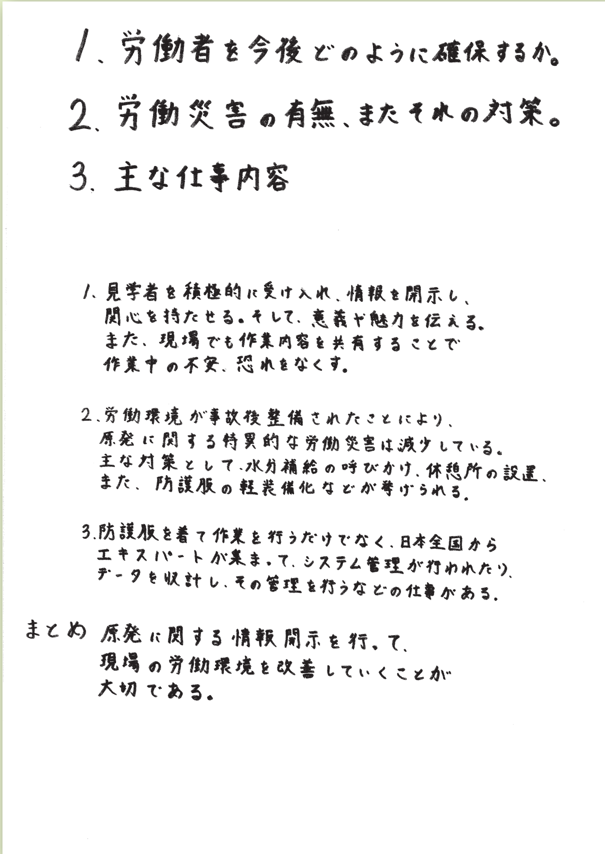
→ 対策として
- 線量によって滞在時間・服装を変える
- 線量計をモニタの設置により、作業する場所の線量をリアルタイムに確認することができる
- 除染作業

100%安全とは言い切れない環境でも、作業員の方が安心して仕事ができる廃炉(仕事場)づくりが大切で、その安全対策は今進んでいる。

おもて



うら



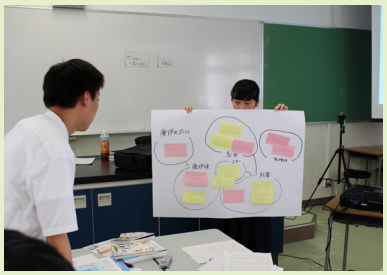
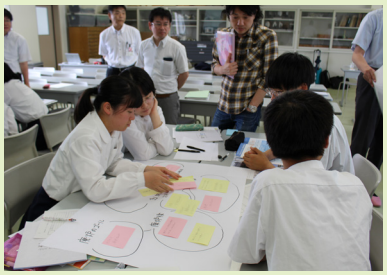
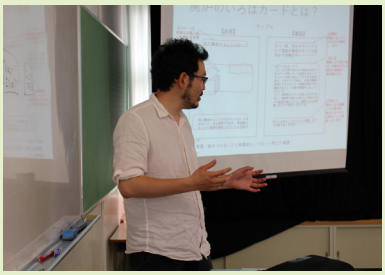
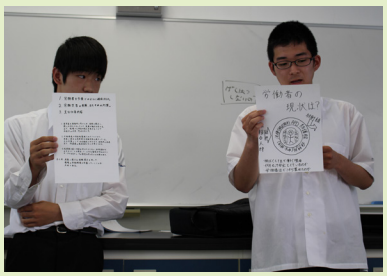
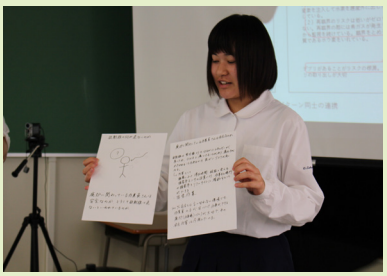
1、労働者を今後どのように確保するか。

2、労働災害の有無、またそれの対策。

3、主な仕事内容

1、見学者を積極的に受け入れ、情報を開示し、
関心を持たせる。そして、意義や魅力を伝える。
また、現場でも作業内容を共有することで
作業中の不安、恐れをなくす。

2、労働環境が事故後整備されたことにより、
原発に関する特異的な労働災害は減少している。
主な対策として、水分補給の呼びかけ、休憩所の設置、
また、防護服の軽装備化などが挙げられる。

3、防護服を着て作業を行うだけでなく、日本全国から
エキスパートが集まって、システム管理が行われたり、
データを収計し、その管理を行うなどの仕事がある。

まとめ　原発に関する情報開示を行って、
現場の労働環境を改善していくことが
大切である。